

1 計画の概要

崖線の緑は、自然の地形に残る貴重な自然環境であるとともに、動植物等とふれあいを持てる貴重な空間であり、ここ調布市にあって緑の骨格ともなっています。調布市においては、緑の基本計画の全体計画に掲げた施策や調布市を特徴づける骨格的な水と緑の保全にもとづき、現在市内にある崖線の保全管理を進めています。特に、国分寺崖線については、調布市景観計画においても景観形成重点地区に位置づけられています。また、この保全活動にあたっては、市民団体との協働により進めてきているものの、現在まで、保全に関する計画がなかったこともあり、現状や課題を共有し、共通する認識をもって活動する上でも保全管理計画の策定が望まれています。

こうしたなか、今回若葉町から入間町に位置する調布市管理地にあたる国分寺崖線の崖線樹林地において、概ね10年後の将来を見据えた崖線樹林地の保全管理計画を策定することを目的としています。計画の策定にあたっては、保全活動を行っている市民団体を中心に、その他の市民団体とも意見交換を行うとともに崖線樹林地で講師として活動されている専門家に相談する機会を設け、樹林地の現状を把握し協働のあり方の検討を行うつつ計画のとりまとめを行っています。

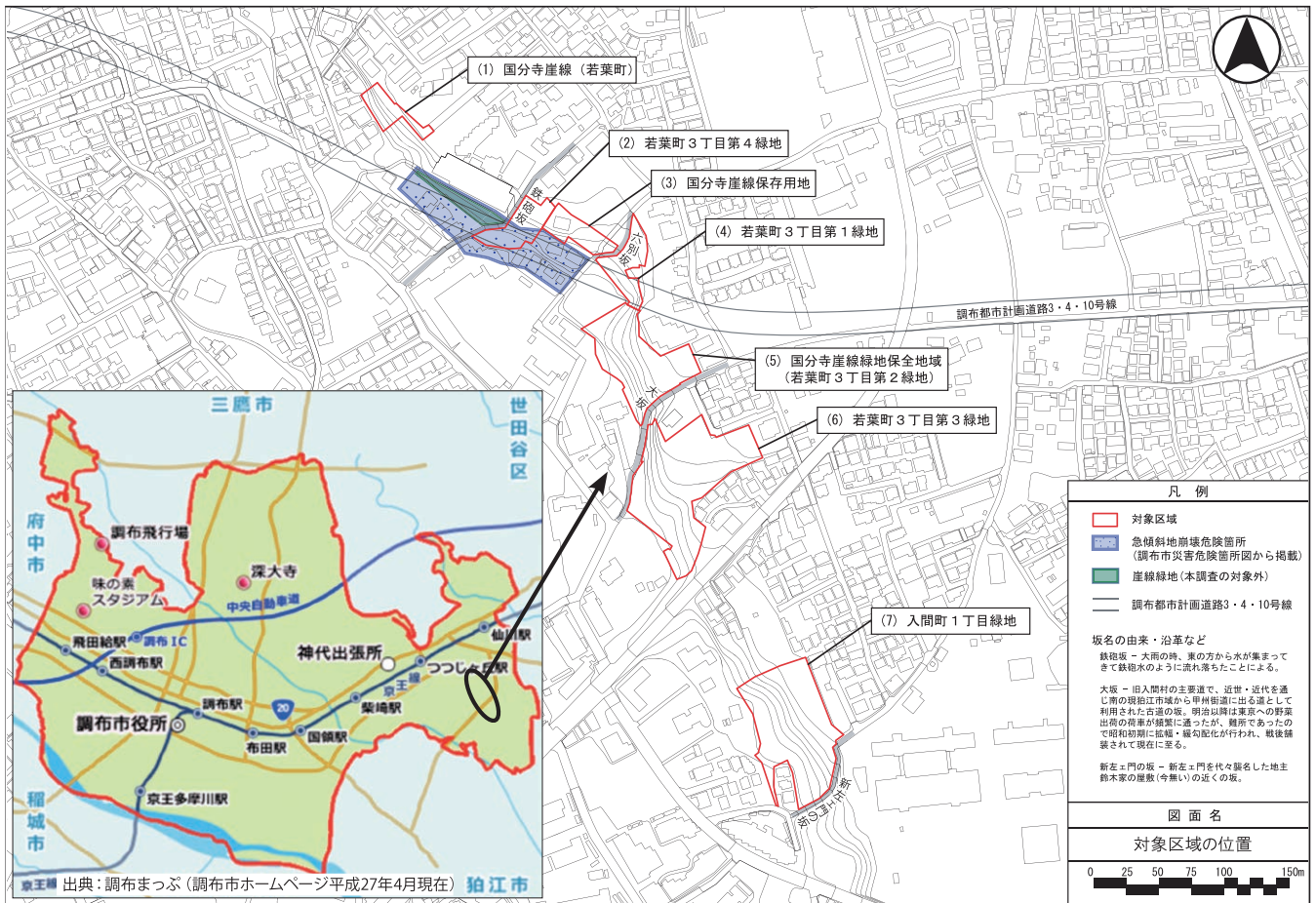
1 対象区域の位置

対象区域には、東京都指定の緑地保全地域や都市計画緑地があります。また、急傾斜地崩壊危険箇所等に該当する区域も含まれているほか、周辺住宅と隣接する場所も多くみられます。

- (1) 国分寺崖線（若葉町）
- (2) 若葉町3丁目第4緑地
- (3) 国分寺崖線保存用地
- (4) 若葉町3丁目第1緑地【若葉の森3・1会】
- (5) 国分寺崖線緑地保全地域（若葉町3丁目第2緑地）【若葉の森3・1会】
- (6) 若葉町3丁目第3緑地【若葉緑地の会】
- (7) 入間町1丁目緑地【入間・樹林の会】

※【】は保全活動を行っている市民団体です。

〔対象区域の位置〕



2 区域周辺の土地利用

崖線に分布する樹林地・草地などのほか、住居系の用途、および事務所や駐車場としての利用をみることができます。また、崖線の斜面下には若葉小学校、第四中学校や図書館分館などの文教施設も位置しています。

〔区域周辺の土地利用〕



若葉小学校通学路から（通称 六別坂下より撮影）右手奥が若葉町3丁目第1緑地



若葉町3丁目第2緑地